

会 議 録			
会 議 名	令和7年度第3回棚倉町立学校統合準備委員会		
開催日時	令和7年11月26日(水)	開会	午後6時00分
		閉会	午後7時21分
開催場所	棚倉町役場 正庁		
会議次第	1 開 会 2 委員長あいさつ 3 教育長あいさつ 4 協 議 (1)義務教育学校視察の報告について (2)統合学校の校種について (3)その他 5 閉 会		
傍聴者数	なし		
欠席した委員	石井由美子委員、八木沼真二委員、菊池良訓委員、近藤実華委員 内野秀美委員、鈴木雅人委員		
会 議 議 事 内 容			
1 開 会	事務局		
2 委員長あいさつ	益子委員長		
3 教育長あいさつ	荒川教育長		
事務局から説明	<p>協議に入る前に事務局から新聞報道等について委員各位に説明</p> <p>皆様こんばんは。子ども教育課長の金澤と申します。私から先週になりますが、委員の皆様もご覧になった方がいらっしゃるかと思うんですけども、民報・民友・夕刊紙の各社において、棚倉町の学校統合に関しての新聞報道がございました。その報道の内容なんですけれども、「町が義務教育学校を設置することがすでに決定・決まった」というような内容でございました。</p> <p>この報道が載っている前日に、前回までの準備委員会の経過報告をするために、議会全員協議会を開催していただきました。その席上、マスコミ各</p>		

	<p>社の方々も同席されておりましたが、その全員協議会で説明をさせていただいた内容は、「前回の委員会の会議資料をもとに、事務局から『義務教育学校』という提案をして、現在協議中です」というような内容でございました。</p> <p>ですが、翌日の記事では、あのような形で報道されてしまいましたので、結果として委員の皆様にご迷惑を招くような形となってしまう、大変申し訳ありませんでした。</p> <p>あくまでも学校の校種、統合学校の校種につきましては、今現在も協議中で、結果はこれから出していただくということには間違いございませんので、引き続き協議の方よろしくお願いを申し上げたいのと、併せて今後、全員協議会で状況報告をすることはやはり必要なこととなってきますが、今後そのような場等で説明をしていく際には、誤解を招かないような慎重な説明をしていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。以上です。</p>	
<p>4 協 議 (1)義務教育学校視察の報告について</p>	<p>委員長が議長となり議事を進行した。</p> <p>事務局から資料P 1～P 7を基に説明した。</p> <p>事務局説明後、委員からの下記の質問があった。</p>	
	<p>益子委員長</p>	<p>できれば視察に行かれた方で、ご発言をいただければと思うのですが。どなたかお願いできますか。</p>
	<p>橋本委員</p>	<p>はい。私サラリーマンですから、親としての視点から見てきました。</p> <p>やはり今言ったような効果があって、やはり目に映ってくるそのインフラ面というのは、本当に理想な形で作られています。二つほど言いますと、まず職員室・教室との廊下が素通しのガラスです。それと自校給食ですか、自分の所で給食を作っているという所も素通しのガラスで中で作っているのを常に見て通れる、そういう環境で、なんかホットするよなというのが正直なところでした。で、やっぱり子供って親の背中見て育つて言いますが、こうやって職員室で仕事してる先生方も横目で見れるような環境っていうのは、まあ子供たちにはいい影響があるのかなっていうふう感じたところです。</p> <p>ただ、私も質問したんですが、小学校と中学校ってやっぱり文化・教育云々も違うような気がします。「その辺、意思疎通はどうですか」という質問をしたんです</p>

	<p>が、教頭先生はちょっと教育委員をちら見して、あんまり歯切れ良くなかったんで、その辺がちょっともう少し深掘りした中で、ね、先生が元気じゃないと子供たちが元気じゃないっていうのが私常々思ってますんで、そういったところも含めて、まあ行ったことに対してすごい私なりに勉強になりましたが、もう少し勉強したいというところが正直なところですよ。</p> <p>ただ、あともう一つ、子供たちの雰囲気どうなのかなって子供たちをずっと目で追っかけてたんですけど、やっぱり小学校、ここでいうスクールバスがないという中で、電車待ちが玄関のところにあるんですけど、そこでもやっぱり小学生らしいワイワイガヤガヤ、低学年だったんですけども、あって。ああ、子供ってやっぱり順応性高いんだなっていうのを感じました。</p> <p>また校庭では、中学生かな今から体育かなんかやってる始まる前か、で、挨拶しても元気にみんな挨拶してますし、やっぱり大人より子供の方が順応性は高いっていうふうな感じを受けました。</p> <p>で、総じてやっぱり先生、先ほど教育長おっしゃったように、先生たちの力量、指導力っていうのがすごい問われるようなシステムなのかなっていうふうに感じました。その辺も含めて、今後ね、あの勉強していければと思います。</p> <p>以上が簡単ですが、視察の感想になります。以上です。</p>
塩田委員	<p>はい。すいません、皆さんこんばんは。棚倉中学校のPTA会長してます塩田です。今回は視察の方に同行させていただきましてありがとうございます。お世話になりました。私も保護者という立場から参加させていただきました。で、先ほど説明があったような形で、かなり立地面・環境・設備等に関してはすごく理想的なものでした。中庭の方が半分人工芝になっていて、排水も良く、雨が降っても2、3時間経てば乾いてしまうので、低学年の子たちは裸足のまま、またはシューズのままですか、外に出て遊べると。半分は中庭が小学生用の校庭になっているという形だったりとか。</p> <p>やっぱり心配なところは、児童クラブのようなところもちゃんと分かれていて、児童クラブが開催される夕方です、ね、始まる時には他の教室の方には行けないように鍵が閉まるような設定になっていたりとか。不登校の子たちが来れるような状況で、別の入り口があったりし</p>

	<p>て、そこから誰にも会わずに学校に少しだけ来れるとか、そこまで来れるとかっていう対応がなされていたりとか。また相談室とかやっぱりどうしても皆と一緒にいられない子とかが居れる場所がありまして、そこに先生一人が付くのが大変という時に、そこが保健室と繋がっていて保健室の先生が見て対応していただけるというところも、やっぱりすごく良い形だなと思いながら視察させていただきました。で、私がやっぱり同じように思いましたのは、教頭先生も言ってらっしゃったんですけども、この美乃浜学園のお子さんたちは、みんななんとなく他の学校よりも「のんびりしている」。ま、よく言えばとても穏やかとか、のびのびと、自由な気持ちで生活とか学ばれているんだろうなあと私は感じました。そのとおりにあの一小学生は元気ですし、中学生の子たちはクラスではなくて、その特別教室ですか、各教科の教室で学んでいる姿も一生懸命真面目にやっている姿がみられました。先生が一人一人を理解していると感じましたし、校長室の方には全員の写真名前が貼ってありまして、先生方というのは全員把握するものだと思いますけれども、間違いのないようにとか、良くわかるように形で写真が貼ってある所にもちょっと興味を示しました。やっぱり一番は私も気になるところは、中学生の子どもがいる中で、中1のギャップというところがすごく大きいなというのを感じています。それが続けて学ぶことによって、そこの変化とか友達関係の変化というのが変わらず数年間続くというのは良い環境じゃないかと思います。今後やっぱりあの一少子化という流れが変わらない中で、保育園に入園されてるお子さんが幼稚園に行って小学校に行って、そういう中で長い年月を一緒に過ごすということは、いい面の方も多いと思います。もちろんその中でもトラブルというのはあるとは思いますが、それはその時々で対応していけば良いのではないのかなと感じました。また、思いやりとかコミュニケーション力というのは、やっぱり小さい子と小学生と中学生ですね、そういった子が一緒に過ごすことによって、行事を一緒に体験することでそういう面での成長・発達というのをみられるのではないかと思っています。もちろん一番心配なところ、その前にPTAの件に関しても質問させていただきました。PTAの方は1年</p>
--	--

		<p>生から9年生まで学年委員という形と、教頭先生の方でお忘れになられたそうなんですけども、本部の方と3つほど委員会があると言っていて、今までの学校の地域性というか、そういう形で皆さんが協力してくれているとおっしゃってました。この学校の会長さんは一人だそうなんですけど、それと別に市P連の方の会長さんは別として存在しているそうです。ですので会長さんは学校の方を担当する会長さんと地域の方で担当する会長さんと二人というお話も聞きましたので、やっぱりPTAというのは小さな町の中ではその辺もうまくできたらいいなと思いました。で心配かなと思うのは、9年間同じ中で勉強していくので、今度中学3年生になった時に今まで9年間一緒の仲間が新たな道を高校生になって受験という形で選んでいく、その時点で今度は大きな規模の違った学校へ進んでいく時に、中3の思春期の子たちがどう対応していけるのかなというのが、ちょっと今回聞くの忘れてしまったんですけども、そこが保護者としてちょっと感じました。ちょうど今、我が子が受験生なもので、その辺のやっぱり中1ギャップはなくなるけれども、今度9年間一緒だった子供たちが受験をして違う道へ進んでいくときの、フォローはどうなのかなと思いました。また、以前小学校でPTA役員をしていた時に、荒川教育長が校長先生だったときに私お話したと思うんですけども、うちの子たちは小さいときにインドネシアの方で4年半過ごしました。長男は3年間、次男は1年間ほど小中学校一緒の学校に生活しておりました。すぐ近くに幼稚園がありまして、三男はその幼稚園に通っておりました。その中で小中学生が一緒に過ごして別棟なので勉強に関しては特に問題はなく、それぞれに一生懸命に頑張っていましたし、行事に関しても小学生は中学生のお兄さんお姉さんたちをすごく憧れて見て、共に助け合い共に力を合わせながら行事を行う中で、思いましたのは小学生の中でも5、6年生で副リーダーという形をつくって、まずは小学生の6年生までの中で一端リーダーを作った状態で、中学生の本当のリーダーにお手伝いをするという形をとっていましたので、そういった形を取れば小学5、6年生のリーダー意識というところも評価できるんじゃないかと私は思います。今回は色々</p>
--	--	--

		なことを学ばせていただきました。ありがとうございました。
	益子委員長	<p>私も参加させてもらったので1点だけ報告させてください。質問の内容なんですが「義務教育学校を設立するにあたって、その前段階で地域の各小学校、中学校であるとかPTAの方であるとか、そういった協議でどういった形でやってきましたかって聞いたんですね、ただ現在の教頭先生もその当時関わってなかったのという前提なんですが、ある程度そういった情報共有はされていたですよというだけでした、ちょっと当時のがわからなかった部分はあるんですが、やはり3つの小学校、2つの中学校の統合だったので、きちんと経過は踏まえて来たのではと推測したところです。その上で校舎に入るエントランスの所に各小中学校の校舎の写真と校歌がパネルになってそれぞれ五つ並んでました。やはり前の学校の歴史というものを新しい校舎の中でも残せるようにという位置づけもあったでしょうし、それぞれの地域にお住いの方にとってはやはり地元の学校って大事なんだな、そういう思いを新しい校舎に残しているんだなと感じました。感想でございます。後もう1点あの1学年2学級なのでクラス替えができる環境ってやはり大事なんだなと思ったところです。やはり今現在、各小学校どこもそうですけども柵小は別として中々できなくなってますので、いじめとかそういう問題を解決するためにも、最低1学年2学級を確保することによってクラス替えができる環境をつくれるって大事だなって感じたところでございます。私の方から2点だけ感じたことを報告させていただきます。</p>
	石井委員	<p>石井と申します。 あの一、このひたちなか市の美乃浜学園の、写真というか敷地、同等の写真です。 まずこの落下生畑を選定して今の現在の校舎等を建設したということなんですが、その「立地決定」に至るまでの経過なんかもお話をしたのかどうか。 それと敷地の面積はおおよそどのくらいの面積なのか、ちょっとお願いします。</p>
	事務局	<p>場所の決定というお話ですけども、あの説明の中でもちょっとお話しはいたしましたが、ひたちなか市の、この小中学校が統合になるということで、その中心部であって、通学に鉄道を使うというような想定をしております。</p>

		したので、そういったところで合致する場所ということで、この場所を選ばれたと聞いております。それと面積につきましては、57,800㎡ほどございます。
	山口委員	社川の山口でございます。 今に関連するんですが2つほど。1つは今お話がありました「中心部」に新設したということなんですが、そのなんちゅうんですかね新設したところ、元々何か学校があったのか、なんの所じゃない場所か。あと従来の、小学校と中学校の2つ、それを1つにするね。その学校は今どうなっているのか。今はあるのかどうかわからないんですが。それちょっとわかれば教えてください。
	事務局	はい、ありがとうございます。 1点目のお話ですが、こちらさつまいも畑です。さつまいも畑の場所に校舎を建てたということでございます。周りにもまださつまいも畑が、写真にも若干ちょっと上の方になってますが、全てさつまいも畑、地域性ですけども、そこを平らな土地を買収したということです。元々の学校5校ですが、そのうち2校については地域の交流、コミュニティの場所として使っているという様なお話でございました。管理についても地域にお願いしているお話でございました。残りの校舎については、まだ何も決まっていなく取り壊しもしていないというお話でございました。
	益子委員長	はい、よろしいでしょうか。 課題として、その残ってる校舎について今後どういうふうに利用を考えていくかっていうのは課題だというお話も向こうもあったところでございます。 よろしいでしょうか。 はい、それでは質疑はないようですので、次の議題に移りたいと思います。
(2)統合学校の校種について		事務局から資料P8～P15を基に説明した。 事務局説明後、委員からの下記の質問があった。
	山口委員	あの、前段の議会のですね、全協委員会されたということで、その時には何かどんなご意見かどうこう何か出たんでしょうか。

事務局	はい。全員協議会の中では特に意見としては出ませんが、9月の議会の一般質問で、ある議員さんから、統合に関しての質問として、町として義務教育学校の考えはあるのかというご質問はいただきました。その際の教育長答弁としては、「現在準備委員会の中で協議していくところです。」とお答えをしています。
山口委員	前段で全協で説明しまして、議会は町民の代表ですから説明するのは良いと思うんですが、ひとつにするという事がねメリットいっぱいある中で、メリットの部分を議員さん方がどのように理解したか聞いたかったんですが
事務局	あの一今のご質問は学校統合そのものに関しての議員さんたちの反応かと思いますが、元々ですね学校統合の話の昨年以前から議会の中で、それぞれ議員さんからは棚倉町は学校統合を考えてないんですか。考えることはしないんですか。という様なご質問は以前から出ておりました。ですので昨年から、統合の話が出てきた中では概ね議員さん方は学校統合に関してはご理解をいただいているような状況です。それで今年準備委員会等を立ち上げまして、より統合の話を円滑に進めていこうの考えから、その都度準備委員会の協議状況を全員協議会等でご報告させていただいている状況ですので、特段その中では元々の学校統合自体どうなのかという事には、特にご質問等はございません。
塩田委員	すいません。質問というよりも、もしそうなった場合のお願いというか形になってしまうとは思いますが、やっぱりあの、先ほども言われておりましたけれども、統合するにあたって、町の方々、また保護者の方へのきめ細やかな説明っていうのは大事だと思います。で、特に義務教育学校となると保護者の方ってどうして小学校と中学校が一緒になって9年生という形をとるのだろうというところが、まだまだ理解がそういうのがまだまだありませんので、わからない部分とか不安になる部分が多いと思うんですね、これからそういう形を作っていく中で、そういう説明とかを丁寧にしていただきたいなと思うところと、やっぱりそういう中で先生方の負担っていうのが大きいってことも、あの美乃浜学園さんも言われていましたし、前回の鈴木園長先生の方でも言われてましたので、その中で美乃浜学園さんの教頭先生が、足りない部分での先生の確保っていうのを教育委員会さんにもお願いしたいっていうことをおっしゃってま

		<p>TA等に出向いて説明する必要があるかと考えておりますので、まだ校種が決まらない段階で保護者の方々にどういった学校が良いですかと聞くのも中々回答に困るのかなとも思っていますので、順序を追って開催できればと思っております。</p>
	山口委員	<p>あの一私どもの任期っていうのは、この開校まで・・・そうすると、まだしばらくあるんですね。それまでの間どんなスケジュールで委員会が進むのか参考までに聞きたいのと、あと先進地を視察されたわけですが、一番は現職の先生方が主ですから、たぶん現職の先生方も行かれたんだとは思いますが、先生方の意見をですね取り入れてですね計画に反映させて行ってくれればと思います。</p>
	事務局	<p>ありがとうございます。</p> <p>あの、先ほど橋本委員さんからも、また塩田委員さんからもありましたように、先生方のことについては、今後来年度以降ですね、開校に関しての教育課程ですとか、そういった専門的なことを考えていく中で検討していくべき事項だとは思っております。</p> <p>あとですね、あの先生方のご負担というものも十分大事なことではあるんですけども、元々この学校統合っていうのは、棚倉町の子供たちのために、やはり今後将来のことを考えた時に必要ではないか。で、その子供さんよりも、先生方の負担感が頭に来てしまって、そのためにその根幹となる学校の形ですとか、そういったものが揺らいでしまっているのもちょっとどうなのかなと思うので、そこのところはよく均衡を図りながら考えさせていただきたいと思います。</p> <p>あと任期につきましては、第1回目でお話したかと思うんですが、準備委員会、まあ開校する前までです。基本的なことは準備委員会の協議事項が終了するまで、まあ要するに開校準備が整うまでということになっております。ということでよろしいでしょうか。</p> <p>スケジュールについては、あの、来年度以降の話です。まだ校種が決まっていないのであれですが、来年度以降は基本的に細かい各論のお話になってくるんだろうと思います。第1回目でも提示しましたように各部会等を設置して細かいことを決定していく、その内容についてもこの準備委員会に報告するというような事で考えているところです。</p>

	<p>益子委員長</p>	<p>はい、よろしいでしょうか。</p> <p>はい、大変活発なご意見ありがとうございました。</p> <p>あの、今までのご意見等もたくさんございましたけれども、今ほど事務局から説明がありましたように、町当局・教育委員会からは、統合学校の校種、こちらを「施設一体型の義務教育学校」ということで、先ほどの予算の面もございましたけれども、子供たちの教育環境の充実というところも踏まえた上で、施設一体型の義務教育学校にしたいという提案をいただいているところでございます。</p> <p>そしてまた前回、今回と含めて、この施設一体型の義務教育学校の内容につきまして、皆様方と協議を進めてきたという経過があります。</p> <p>改めてその中で、前回の美乃浜学園の視察も踏まえた中で、我々もわからないことを準備できましたし、今日のご意見の中で様々な課題があることも理解したというところでございますので、その課題を踏まえて事務局の方でも、情報の発信ですが、特に保護者の方であったり地域の方、それから先々になるんでしょうけれども先生方に対する情報の発信・共有というのが必要になってくるんじゃないかなと思うところでございます。</p> <p>それでは繰り返しになりますけれども、そういった中で協議を進めてまいりました。ある程度内容につきましてご理解いただいたと思いますので、この準備委員会といたしましては、これからの棚倉町の子供たちの減少等、あるいは学校教育のあり方等も踏まえて、また棚倉町のキャリア教育の推進というところも含めて考えていかなくちゃならないというところで思います。</p> <p>そしてまた先ほどの財政面でも国の支援というところもありますので、棚倉町が、町の教育委員会から施設一体型の義務教育学校というものの提案をいただいておりますので、この準備委員会としては、その提案通り、施設一体型義務教育学校ということで進めてまいりたいというふうに考えておりますけれども、この提案に委員の皆様方のご賛同をお願いしたいというところでございますけれども、ご意見等はございますでしょうか。もし、ご意見ご質疑等ないようでしたら、その方向性で進めて参りますので、ご異議等ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。</p>
	<p>各委員</p>	<p>(異議なしの声)</p>

	益子委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、「異議なし」という声がありましたので、準備委員会といたしましては、統合学校の校種を「施設一体型の義務教育学校」に賛同する形を取りたいと思います。</p> <p>最終的な決定は町当局であったり、議会等になると思いますが、我々準備委員会としては賛同するという形で上申する形をとってまいりたいと思いますので、よろしくお願いたします。</p>
(3)その他	事務局	<p>事務局から資料P 1 6を基に説明した。</p> <p>事務局説明後、委員から質問はなかった。</p>
5 閉 会	事務局	午後7時21分終了